

事業所名

発達支援Laboランプ

支援プログラム（様式）

作成日

2025年

3月

10日

法人（事業所）理念		子どもの生きやすい社会の実現 子ども達のより良い未来の創造											
支援方針		①自主性 ②自然体験 ③思考											
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	昼食支援やおやつの時間などを通じて、身辺自立や社会的場面での基礎となる健康的な生活づくりを目指します。また小集団という環境の中で、「できた」という経験の積み重ねから生活の様々な困難にも取り組んでみようとする意欲を伸ばします。											
	運動・感覚	敷地内に設置された砂場遊びや、五感それぞれを刺激する経験を通じて、子ども達の世界を広げていきます。また近隣の児童遊園、遊具も活用し子ども達の運動機能を向上させ、健全な心身の育成を目指します。											
	認知・行動	一人ひとりの受け取り方や、理解の仕方についての特性を踏まえた上で、時にきっかけを意図的に作るなどの介入(SSTなど)を行い、「自分自身で考える」事を最大限尊重をしながら、考え方や行動の幅が広がるようにサポートします。											
	言語コミュニケーション	他者とのやり取りや活動を通じて「ことば」の獲得を目指すほか、絵カードなどの代替コミュニケーションツールの使用・展開により意思表示・自己表現の方法の拡充を促します。また、子ども達同士の自然な関わり合いの積み重ねを大切に支援を展開します。											
	人間関係社会性	大人との関わりを起点とし、小集団での活動やその子の社会性の発達に応じた環境提供を行います。集団の中だからこそ生じる葛藤や主張とその解決を経験し、その子の主となる集団におけるより良い生活に繋げていきます。											
家族支援		HUG（運営ソフト）を活用した日々のやりとりの他、ご希望により定期的に勉強会や個別面談を行います。 （家族支援加算、子育てサポート加算の活用）						移行支援		就園先・就学先や併用先との連携を行います。 （関係機関連携等の活用）			
地域支援・地域連携		利用児童に関わるソーシャルワークとの連携や、近隣施設の利用、地域活動の実施等によって地域とのつながりを意識した支援を行います。						職員の質の向上		月に2回程度の継続研修の他、心理士による心理教育・療育理論に係る研修、OJT等			
主な行事等		季節に応じた製作やおやつ（お正月、バレンタイン、桃の節句、ホワイトデー、イースター、端午の節句、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等） イベント活動（誕生日、お正月、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等）											